

【支援籍学習の目的】川越特別支援学校ガイドラインより
 ○地域との**関係を深める**とともに、在籍校（学級）以外の学校（学級）において学ぶことにより、**「社会で自立できる自信と力」**を育む。（川越特別支援学校）
 ○同じ地域に住む障害のある児童生徒と学級の一員として学ぶことにより、**「心のバリアフリー」**を育む。
 （支援籍校）

【題材・単元名】
 「ロードレースのコースを走る」

【対象学年】
 中学3年生

【ねらい】
 ・同年代の友だちと同じ活動し、自分の力を向上することができる（川越特別支援学校生徒A）
 ・共に活動し、互いの努力を称賛し、応援し合うことができる（支援籍校生徒）

時間	活動内容	目標		留意点
		○生徒A	◎支援籍校生徒	○本校 ◎支援籍校
	登校後教室で合流 その後は友だちと校庭へ移動 ・集合整列 ①始めの挨拶 ・準備体操 ・アップ（5分間走） ②コース走 ③クールダウン ・集合整列 ・整理体操 ④振り返り ⑤終わりの挨拶	○挨拶をする。 ○集団の動きを見ながら活動に取り組む。 ○集団から離れないように走る。 ○最後まで走り続ける。 ○感想を伝える。	◎集団のペースを調整し、適宜声かけをし、励まし合いながら共に走る。 ◎ゴールを共に喜ぶ。	◎集団のリーダー（体育委員）ペースをコントロールする。 ◎数値ではなく互いの力を認め、頑張りを称賛し、励まし合えるように記録カードを作り、ペア決めを配慮する。 ○◎適時、声かけをする。

【評価】
 ・友だちの声を聴きながら、最後まで走り抜くことができたか。（生徒A）
 ・走りながら声をかけ、ゴール付近で声援を送るなど自然な関わりを持つことができたか。
 （支援籍校生徒）

【支援籍校教員から】
 ・生徒Aの存在を意識しながら、集団での活動ができていた。
 ・直接声をかける生徒、声をかけなくても生徒Aに寄り添う生徒も出てきた。特に教師から声かけが無くても、自然にできていたように感じられた。